



## 記入方法

- 1 「届出者」が法人、団体等である場合は、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 2 「最高高さ」及び「軒高」については、それぞれ建築基準法施行令第2条第1項第6号及び第7号に規定された高さを記入すること。  
また、「床面高さ」については、地盤面から屋上緊急離着陸場等の床面までの高さを記入し、( )内には、屋上緊急離着陸場等の床面の標高高さを記入すること。
- 3 屋上ヘリポート及び屋上緊急離着陸場については、着陸帯と離着陸帯の大きさを区別して記入すること。又、緊急救助用スペースについては、その広さを「離着陸帯の広さ」欄に記入すること。
- 4 「全装備重量・最大許容荷重」欄については、屋上緊急離着陸場及び屋上ヘリポートについてのみ記入すること。なお、最大許容荷重には、使用予定機種の全備重量×2.25倍又は3.25倍の荷重を記入すること。
- 5 「種別」欄については、該当する番号に○印を記入すること。
- 6 「消防用設備等」欄については、屋上緊急離着陸場等(屋上部分を含む。)に設置されている消防用設備等について記入すること。
- 7 「その他」欄については、例示している内容の他、特記事項があれば記入すること。
- 8 上記の他、関係図書として、次に掲げる資料を添付すること。
  - (1) 屋上緊急離着陸場等の位置、構造、設備等の詳細図
  - (2) 周囲の障害物の有無とその状況図
  - (3) 床面強度計算書
  - (4) 燃料流出防止施設詳細
  - (5) 脱落転落防止装置詳細
  - (6) 消防設備等(詳細については別途届け出済の着工届により代えることができる。)
  - (7) 照明等
    - ア 飛行場燈台
    - イ 着陸区域境界燈
    - ウ 航空障害燈
    - エ その他、これに類する照明
- 9 ※印欄は記入しないこと。